

FROM STANDARD LIFE ANNUITIES TO LONG-TERM CARE BENEFITS: AN ACTUARIAL PERSPECTIVE (生命年金から長期介護給付へ：アクチュアリーの見点)

平成29年9月11日(月)～14日(木)

京都大学理学研究科3号館127大会議室

会場への交通については、理学研究科数学教室 ウェブページをご参照ください。

<https://www.math.kyoto-u.ac.jp/ja/overview/access>

対象者

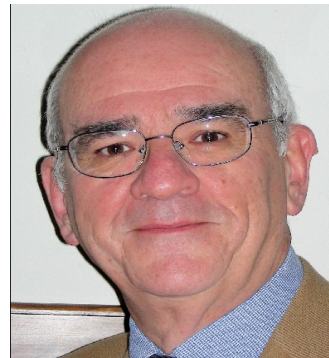
アクチュアリーサイエンスに興味のある学部生、大学院生。日本アクチュアリー会の会員(事前申込不要。他大学、理学部・理学研究科以外の学生の参加も可。)

言語

英語

Prof. Ermanno Pitacco

University of Trieste
Academic director, Master Insurance
and Risk Management, MIB Trieste
School of Management



スケジュール

9月11日(月)	15:00	～	16:30	Life annuities: basic products and related actuarial models
9月12日(火)	10:30	～	12:00	The post-retirement income: alternative strategies
	14:30	～	16:00	Long-term care insurance products
9月13日(水)	10:30	～	12:00	Long-term care : basic actuarial models
9月14日(木)	10:30	～	12:00	Long-term care insurance premiums: sensitivity analysis
	14:30	～	16:00	Discussion Session

講義概要

本セミナーでは、人口高齢化に関係深い2つの保険商品に着目する。セミナーは主に2つの分野から構成され、前半は生命年金商品の主な特徴を示し、保険料や責任準備金計算の基本的な保険数理モデルが提示される。後半は、長期介護保険の商品内容に応じて基本的な保険数理モデルを示した後、保険料計算に関するいくつかの問題を議論する。14日午後のDiscussion Sessionでは、学生の様々な質問に対して、講師がアクチュアリーや大学での経験をふまえた回答やアドバイスを行う予定である。

講師はアクチュアリーの幅広い知識と経験を有しており、Springer Actuarial Series (EAA series) や保険数理・保険分野の複数のジャーナルの編集者・編集委員を務めている。また国際アクチュアリー会(IAA)のMortality Working Partyなどの委員でもある。

問い合わせ: ☎606-8502 京都市左京区北白川追分町

主催: 京都大学大学院理学研究科数学教室

京都大学大学院理学研究科 数学事務室

協賛: 公益社団法人日本アクチュアリー会

E-mail: jimushitsu@math.kyoto-u.ac.jp

Tel: 075-753-3700